

平成24年度奥州市総合水沢病院事業報告書

1 概況

(1) 総括事項

ア 一般的事項

平成24年度は、病院改革プランの実施4年度目に当たる年度でした。プラン実施当初からの医師不足状態や平成22年度の精神科病床廃止等により、プランが想定する診療環境と実際の状況とでは著しく相違が生じ、プランに掲げた諸目標の達成が困難を極める中、昨年度には複数の医師を確保ができたほか、病院職員が一丸となった経営改善への取組みが徐々に実を結び始めたことから、今年度はこれを更に推進し、プランに掲げる諸目標との乖離を極力解消することが求められる年度でした。

まず、診療環境整備については、医師数は今年度着任2名及び退職1名により18名となりました。

また、診療科に関しては、整形外科では、紹介患者のみとしてきた外来受付制限の解除等及び精神科では『うつ ストレス 不眠症外来』を設ける等の取組みを行いました。

次に、収入増加策については、病院の主な収入である診療報酬において、夜間休日救急搬送医学管理料及び患者サポート体制充実加算など適正な施設基準取得を図ったほか、地域医療連携強化により受入患者の拡大を図ると共に、未収金徴収の取組み、子宮頸がん等ワクチン及び高齢者肺炎球菌ワクチンの予防接種の実施、学校検診器具の滅菌業務の受託継続など、収益向上を図るための各種対策を推進し、収入の確保に努めました。

費用縮減策としては、事務局組織の改編による人員削減や早期退職勧奨など職員数の適正化に努めると共に、事業管理者をはじめ医師を除く職員の給料の削減、夜間看護手当や医療技術員手当など特殊勤務手当の削減を継続したほか、奥州市立の病院、診療所で使用する薬品の共同購入も継続して実施しました。

一方、医療サービス提供機能の維持、強化を図るため、手術室モニターシステム等の重要な設備の更新のほか、長時間心電図記録解析装置や脊椎手術用エアドリル等の医療機器の整備更新を行い、さらには療養環境の改善のため、病棟のトイレの改修等を行いました。

また、前年度に引き続き接遇研修を実施し、職員一人ひとりが真心のこもった対応を心がけることにより、患者さんやそのご家族の心に寄り添うような、より良質な医療サービスの提供に努めました。

このほか、病院運営状況の即時的な把握に努めるとともに、院内各種会議や全職員対象の説明会等を通じて、病院運営状況と当院の目指すべき方向性を職員全員が共有し、問題点や課題に対し円滑な対応ができるよう努めました。

これらの結果、前年度に引き続き経営状況を改善し、経常収支比率をはじめとするほとんどの経営指標について、プラン目標を達成若しくは乖離を縮小することができました。

イ 経営状況

(ア) 患者利用状況

本年度の入院患者数は、49,903人で前年度と比較して2.0%増となり、外来患者数は、96,347人で前年度と比較して2.4%の増となりました。

また、一日当たりの平均患者数は、入院で136.7人（前年度133.6人）、外来で393.3人（前年度385.7人）となりました。

なお、病床利用率は全病床数では91.8%で、前年度より2.1ポイントの増、うち一般病床では94.3%で、前年度より2.2ポイント増となりました。

(イ) 収益的収入及び支出について（消費税及び地方消費税抜き）

収入では、医業収益で2,896,721,244円となり、前年度と比較して11.0%の増となりました。この内訳は、入院収益で1,848,387,979円、外来収益で797,316,537円、その他医業収益で251,016,728円です。

医業外収益は738,834,315円となり、前年度と比較して0.6%の減となりました。この内訳は、補助金が11,875,000円、負担金交付金が709,594,000円、その他医業外収益で17,365,315円です。

病院事業収益総額は4,004,951,559円で、前年度と比較して7.7%の増となりました。

支出においては、医業費用で3,074,759,257円となり前年度と比較して4.3%の増となりました。この内訳は、給与費で1,752,336,395円となり前年度と比較して1.6%の増、材料費で581,563,122円となり前年度と比較して15.1%の増、経費で554,066,781円となり前年度と比較して3.7%の増、そのほか減価償却費では159,441,457円、資産減耗費は20,823,090円、研究研修費は6,528,412円です。

医業外費用は74,547,970円となり前年度と比較して5.5%の減となりました。この内訳は、支払利息及び企業債取扱諸費で16,568,361円、雑損失が57,979,609円です。

そのほか特別損失が4,583,374円で、病院事業費用総額で3,153,890,601円となり、前年度と比較して4.1%の増となりました。

この結果、医業収支では178,038,013円の損失でしたが、経常収支では、市からの繰入金等により486,248,332円の利益となり、特別損益を含めた病院事業収支における純損益では、前年度と比較して162,478,513円増加して851,060,958円の純利益となりました。

(ウ) 資本的収入及び支出について（消費税及び地方消費税込み）

収入は、一般会計出資金が42,246,000円、国庫補助金16,590,000円で総額58,836,000円となりました。

支出は、建設改良費80,780,100円、企業債償還金384,652,019円、長期借入金償還金300,000,000円で総額765,432,119円となりました。

なお、収入が支出に対して不足する額は損益勘定留保資金で補てんしました。